

これからの機能・サービスのあり方（具体的施策）

基本的視点 (大項目)	具体的方向性 (中項目)	具体的事業 (小項目)	事業概要
1 図書館ネットワーク (連携)の構築 (学校、行政、 各種団体等との 連携を目指して)	ネットワーク(連携)統括機能の充実	大学図書館等との連携	北九州市立大学、九州国際大学との連携
		図書館以外の図書施設との連携	保健医療福祉情報センター、ムーブ図書室との連携
		ひまわり文庫の充実	配本図書の充実 地元との情報交換の強化
		図書館の広域利用	苅田町との相互利用
		ネットワーク(連携)統括機能の充実	市内図書館(市立図書館以外の図書館を含む)の統括を中央図書館で実施
	学校等との連携による 読書活動の推進	(新)調べ学習用「調べ方マニュアル」の作成	小学校、中学校と連携して、それぞれのレベルに応じた、調べ学習用の「調べ方(資料さがし)マニュアル」を作成、ホームページで公開
		(新)学校向けニュースレターの発行の検討	小・中・高校向けのニュースレターを発行、児童生徒からの意見等を図書館運営に生かす仕組みの検討
		学校向け団体貸出の拡充	小・中・高校への団体貸出における貸出冊数の拡大・貸出期間の延長等の拡充
		学校貸出図書セットの拡充	学校貸出図書セットにおけるセット数・蔵書冊数の拡充
		(新)図書館司書やボランティアの幼稚園、学校等への派遣	幼稚園、保育所、学校、社会教育団体等との連携を深め、図書館司書やボランティアなどの図書館の人材を派遣し、調べ学習、親子読書の推進、読み聞かせ、講座等を支援する。
2 市民の学びに役立つ 図書館 (市民の暮らしやまちづくりに役立つ、生涯学習拠点機能の充実を目指して)	レファレンス機能の強化	(新)相談内容のデータベース化	実際の相談内容の中で、市民の調査研究に有用とおもわれるものをピックアップして、データベース化するとともにホームページで公開
		(新)「調べ方マニュアル」の作成	ビジネス、医療、教育、子育て等について、市民が自分で調べる際の手引きとなる「調べ方(資料さがし)マニュアル」の作成、ホームページでの公開
		(新)郷土資料のデジタル化の検討	劣化しやすい郷土資料を、必要に応じてデジタルデータ化の検討
		レファレンス用図書資料の充実	多様化・複雑化する市民のニーズに応えられるよう、レファレンス用図書資料の充実
		レファレンス担当職員の能力向上	市内全図書館のレファレンス担当職員を対象に、演習を中心とするレファレンス研修を体系的に行い、職員の能力向上を図る。
	特色ある図書館づくり	(新)各図書館独自のホームページの作成	各図書館独自のホームページを作成し、それぞれの特色ある取り組み・情報などを市民に発信
		郷土資料の充実	各図書館における地域の歴史・特色を生かした郷土資料の充実に努める。
		各種講座の開催	ビジネス、医療、文学歴史等の幅広い分野について、指定管理者としての特徴を生かした講座の開催
		特色ある図書閲覧コーナーづくり	各図書館の施設(構造)の特徴を生かして、市民が利用しやすかつ特色のある閲覧コーナーづくりに努める。
		IT機能の充実・活用	CD-ROM資料等の充実 既存図書館資料等の電子化、データベース化、新しい電子資料の収集・提供
	多様な生涯学習機 会の提供	(新)市民団体等の講座等への出張図書館の推進(団体貸出の拡充)	市民団体、NPO、民間事業者等が主催の講座、セミナー等の会場で、要請に応じ、講座に関連する図書の展示や貸出の実施
		(新)図書館の達人講座(図書館活用講座)	ビジネス情報や生活情報の収集、調査研究等のために図書館を利用する市民に向けて、図書館を最大限に活用するためのノウハウを伝える講座を開催
		学習活動の場、設備、資料等の提供	市民の学習活動を推進するため、図書館の施設、設備等を提供
		講座、研究会、読書会、映写会等の開催	市民の生涯学習を支援するため、関連機関等との連携を図りながら、ビジネス、医療、文学、歴史等に関する講座や研究会、読書会等を開催
	社会教育で学んだ 成果の活用と提供	(新)学習成果発表の場として図書館利用の検討	生涯学習センター、市民センターなどの施設との役割分担をしながら、学習成果の発表の場としての図書資料を活用した図書館利用を検討
		(新)学習成果のまとめ方(資料作成)への助言、援助	市民の学習成果の発表等を支援するため、資料のまとめ方(資料作成)等について助言を行うとともに、当該資料を図書館の地域資料として活用

基本的視点 (大項目)	具体的方向性 (中項目)	具体的事業 (小項目)	事業概要	
3 次世代の育成を支援する図書館 (子育て、教育支援図書館としての機能の充実を目指して)	子育て支援、家庭教育支援	(新)子育て・家庭教育支援用図書資料の充実	図書館法改正(「家庭教育の向上に資する」)を踏まえ、子育て、家庭教育関連図書資料の充実	
		(新)図書館司書やボランティアの幼稚園、学校等への派遣【再掲】	幼稚園、保育所、学校、社会教育団体等との連携を深め、図書館司書やボランティアなどの図書館の人材を派遣し、調べ学習、親子読書の推進、読み聞かせ、講座等を支援する。	
		(新)家読(うちどく)の推進	家庭教育向上の基礎となる、親子のコミュニケーションづくりの手段の一つとして家読を推進するため、推薦図書に関する情報提供やコーナーの設置などを行う。	
		読み聞かせ会等の実施	読み聞かせ会等を実施し、子どもが読書に親しみ環境づくりを行う。	
		(新)子どもトイレや授乳室の設置	子ども連れで図書館を利用しやすい環境の整備	
	学習活動の支援	(新)調べ学習用「調べ方マニュアル」の作成【再掲】	小学校、中学校と連携して、それぞれのレベルに応じた、調べ学習用の「調べ方(資料さがし)マニュアル」を作成、ホームページで公開	
		(新)グループ学習室の設置	図書館資料を用いてグループ学習を行うグループ用に専用の学習室を図書館整備に合わせて設置し、自由に討論などができる環境を整備	
		調べ学習用図書資料の充実	学校の要望なども取り入れながら、各年代(小・中・高)に応じた調べ学習用図書資料の充実	
		(新)図書館司書やボランティアの幼稚園、学校等への派遣【再掲】	幼稚園、保育所、学校、社会教育団体等との連携を深め、図書館司書やボランティアなどの図書館の人材を派遣し、調べ学習、親子読書の推進、読み聞かせ、講座等を支援する。	
		学校向け団体貸出の拡充【再掲】	小・中・高校への団体貸出の貸出冊数の拡大・貸出期間の延長等の拡充	
	ヤングアダルト(中高校生)機能の充実	(新)調べ学習用「調べ方マニュアル」の作成【再掲】	小学校、中学校と連携して、それぞれのレベルに応じた、調べ学習用の「調べ方(資料さがし)マニュアル」を作成、ホームページで公開	
		(新)ヤングアダルト(中高校生)と協働した取組みの推進	ヤングアダルト向け図書の選書に際して、中高校生の意見を反映させる仕組みづくりや中・高校生と協働したイベントの企画・開催を推進	
		(新)ヤングアダルト図書館サポーターの募集	図書館のサポーターやPR、図書館運営に関する提案などを行うヤングアダルト図書館サポーターの募集	
		ヤングアダルト向け図書資料の充実	ヤングアダルトの意見なども取り入れながら、図書資料の充実	
	4 誰もが使いやすい、情報や人が交流する図書館 (電子情報など多種の情報が集まり、誰もが交流する機能の充実を目指して)	パソコンの整備	OPAC端末の増設	OPAC(館内利用者用予約端末)を増設
			(新)パソコンルームの設置	地区館以上に図書館整備に合わせてパソコンを数台まとめておける専用スペースを確保し、プリンターも設置
ネットワークへの接続		(新)公衆無線LANの整備	利用者が図書館に持ち込んだパソコンをインターネットに接続できる環境を整備	
		商用データベースの活用	(新)オンライン商用データベースの導入	オンライン商用データベースが閲覧できる端末を設置し、複数の商用データベース(新聞記事、判例集、官報、企業・経営情報、事典など)を導入することで、図書館職員のレファレンス(利用相談)ツールとして役立てるほか、利用者自身が情報活用に関心をえられる場を提供
図書館ホームページ等の活用による情報発信			(新)ホームページを活用した図書館情報の発信の検討	図書館独自のホームページを作成し、新着図書情報や行事案内に加え、おすすめ本の紹介、エッセイやコラム、今日の一冊としたランダムな本の紹介、各館のフロア(書架配置)図など、様々な情報を掲載し、魅力ある図書館情報の発信を検討
		(新)子供向けホームページの開設	子どもを対象としたホームページの開設を検討	
		(新)メールマガジンの配信の検討	登録された利用者のパソコンや携帯電話に新刊案内の配信を検討	
時代に即した各種サービスの充実		(新)CD・DVDの貸出	民間事業者への影響なども勘案しながらCD・DVDの貸出	
		(新)相談内容のデータベース化【再掲】	実際の相談内容の中で、市民の調査研究に有用とおもわれるものをピックアップして、データベース化するとともにホームページで公開	
		インターネット、商用データベース等の充実【再掲】	インターネットや商用データベース等の電子資料の充実を図り、図書などの紙媒体と電子資料を融合させたハイブリッド図書館の推進	
		成人へのサービス	就職・転職・職業能力開発・日常の仕事等、実務に役立つ実用書の充実	

基本的視点 (大項目)	具体的方向性 (中項目)	具体的事業 (小項目)	事業概要
	障害者へのサービス	(新)対面朗読	点字図書館やボランティアと連携しながら、視覚障害者への対面朗読を行う。
		(新)CDブックの収集・貸出	視覚障害者とともに一般の利用にも供するCDブックの収集・貸出
		手話や字幕入り映像資料の整備充実	聴覚障害者用に手話や字幕入り映像資料の整備を推進
		関係機関・団体との連携	障害者団体等の意見を取り入れた、より利用しやすい図書館づくりの推進
		図書館バリアフリー化の推進	ユニバーサルデザインの導入という観点をふまえて、より一層のバリアフリー化を推進
	交流スペースの設置	リフレッシュ(談話)スペースの整備	図書館整備に合わせて利用者がくつろげる場所を提供
	図書館職員の意識改革	(新)リカレント教育(再研修)の実施	図書館資料が活字情報に加え、電子資料が発達してきたことで、図書館職員にも情報リテラシー(情報を活用する創造的能力)が求められるため、積極的な意識改革を促すための職員研修の充実を推進
	利用者の視点に立った弾力的運営、評価	返却フリー	借りた本をどこの図書館でも返却できるシステムの構築
		インターネット予約	来館とFAXで受け付けていた予約をインターネットでもできるようにする。
		(新)運営に関する評価制度の導入	図書館の運営に関する評価を行い、公表するとともに改善を行う。
5 市民参画型図書館 (市民やボランティアの参画できる機能の充実を目指して)	市民の企画による行事の開催	(新)図書館行事アイデア募集事業の推進	図書館を拠点に活動する市民グループなどから図書館行事のアイデアを募集し、協働で実施
		(新)ヤングアダルト(中高生)と協働した取組みの推進【再掲】	ヤングアダルト向け図書を選書に際して、中高生の意見を反映させる仕組みづくりや中・高校生と共同したイベントの企画・開催を推進
	ボランティア活動の参画支援と活用	(新)多様なボランティアの活用	読書ボランティア(読み聞かせなど)や図書館ボランティア(書架整理など)のみならず、関係部局との連携を図り、対面朗読、パソコン操作、子育て相談など幅広い分野のボランティアを活用した図書館運営を推進
		(新)ボランティアバンクの検討	読み聞かせ等を希望する市民に対し、必要とするボランティア情報を迅速かつ的確に提供するため、ボランティアバンクづくりを検討
	図書館協議会の充実	読書ボランティア、図書館ボランティアの育成・活用	図書館や地域で活動する読書ボランティアや図書館で活動する図書館ボランティアの一層の育成・活用
	時代に即した図書館づくりの推進	多様化する図書館ニーズに対応し、効率的・効果的な図書館サービスが展開できるよう、適宜、現状把握や検証を行うなど、さらなる図書館協議会の充実に努める。	

59 項目(再掲8項目を含まない)

うち新規事業31項目(再掲6項目を含まない)